2008年 春モデル

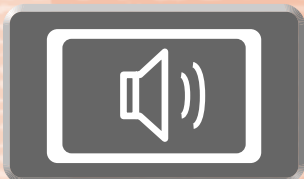
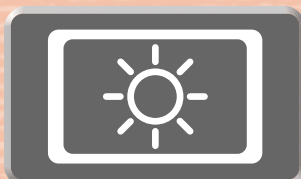
B5FJ-6131-01

NF40Y, NF40YN

FMV取扱ガイド

●この本で説明している主な内容

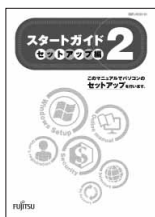
電源の入れ方／切り方

フラットポイント

音量調節

明るさ調節

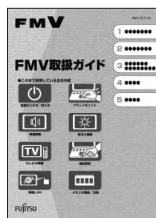
無線LAN
（無線LAN搭載機種のみ）

メモリの増設／交換

冊子のマニュアル

スタートガイド（1 設置編　2 セットアップ編）

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ

●『スタートガイド1　設置編』
●『スタートガイド2　セットアップ編』

FMV取扱ガイド

●各部の名称と働き
●パソコンの取り扱い
　・電源の入れ方/切り方
　・音量の調節
　・輝度の調節　など
●周辺機器の設置/設定/増設
●お手入れ
●仕様一覧

FMVテレビ操作ガイド

テレビチューナー搭載機種に添付

●テレビについて
　・テレビの見かた
　・録画のしかた
　・保存のしかた
●テレビなどに関するQ&A

トラブル解決ガイド

●安心サポート機能
　・FMVサポートナビ
　・トラブル解決ナビ
●バックアップ
●パソコンを復元する（リカバリ）
●廃棄・リサイクル
●Q&A

サポート&サービスのご案内

●ユーザー登録・特典
●AzbyClubのご案内
●困ったときは
●故障かな？ と思ったときは
●お問い合わせ先
●操作指導サービス
●お問い合わせ票/修理依頼票

この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

画面で見るマニュアル

説明している主な内容

●パソコンの基本
●セキュリティ対策
●インターネット／Eメール
●FMV使いこなし事例集
●パソコン本体の取り扱い
●周辺機器の接続
●添付ソフトウェア一覧
●困ったときのQ&A

※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。

テクニカルコミュニケーター協会が定める「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

画面で見るマニュアルの始め方

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FMV画面で見るマニュアル」の順にクリック

参照の探し方

冊子のマニュアルの本文内に、≫🔍「＊＊＊＊＊＊（文書番号）」とある場合は、『画面で見るマニュアル』で検索してご覧ください。

参照

文書番号：≫🔍の横にある6桁の数字

▼ Windows の画面について

『画面で見るマニュアル』 ≫🔍「920010」で検索

→「Windows の画面と各部の名称」

文書番号（6桁の数字）を入力して「検索する」をクリック

FMV 画面で見るマニュアル バージョン情報:V1.( )

❶ 920010 ❷ 検索する ? 検索のヒント

FMV 画面で見るマニュアル

❶ **文書番号（6桁の数字）を入力**

❷ **「検索する」をクリック**

文書番号の内容が表示

「目次」、「検索」、「索引」など、他にもいろいろな探し方があります。

『画面で見るマニュアル』について詳しくは、画面右上の ? 使い方 をクリックしてください。

目次

安全にお使いいただくために

本製品には『安心してお使いいただくために』というマニュアルが添付されています。本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
お使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面で見るマニュアル　添付の冊子マニュアル　▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
●●▶	参照先を記述しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	画面で見るマニュアルを表しています。 （起動方法について、このマニュアルの巻頭でご案内しています。）
	CD-ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

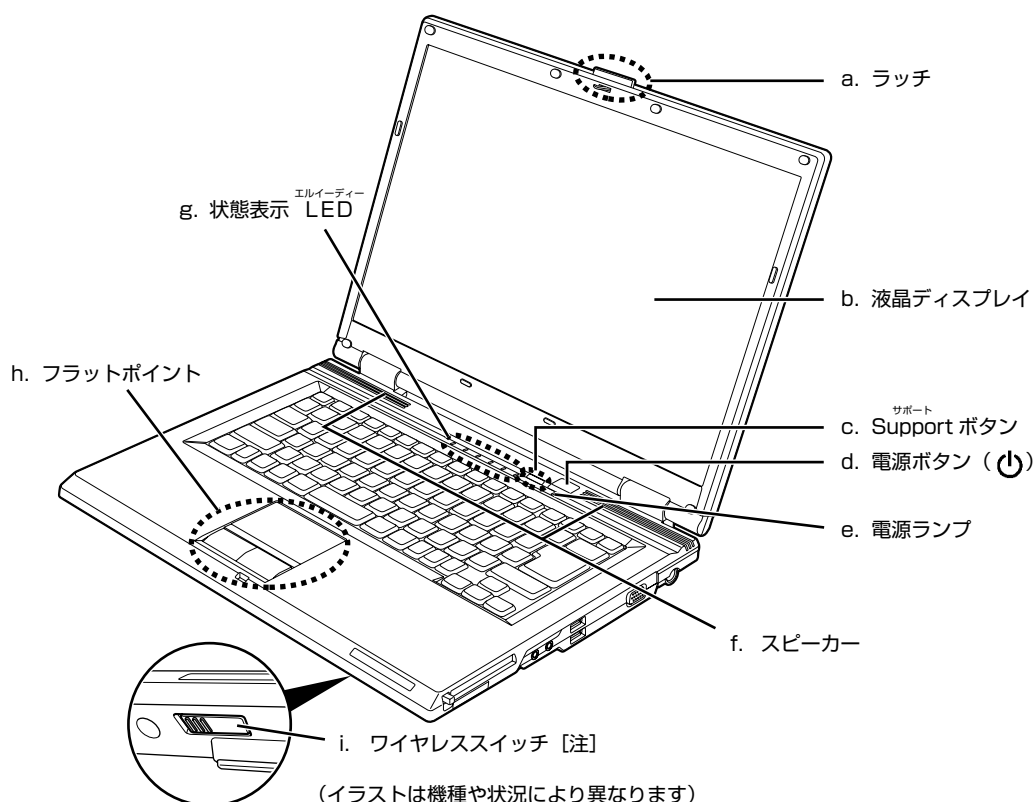
製品名称	このマニュアルでの表記
Windows Vista® Home Premium	Windows または Windows Vista または Windows Vista Home Premium
Windows Vista® Ultimate	Windows または Windows Vista または Windows Vista Ultimate
Windows® Internet Explorer® 7	Internet Explorer 7 または Internet Explorer
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
ＦＭＶ 画面で見るマニュアル V1.3	画面で見るマニュアル
ExpressCard™/34 モジュール ExpressCard™/54 モジュール	ExpressCard

商標および著作権について

第 1 章

各部の名称と働き

パソコンの各部の名称と働きについて説明しています。
ここでは、代表的な機能を説明しています。

パソコン本体前面

（イラストは機種や状況により異なります）

注：無線 LAN 搭載機種のみ

a. ラッチ
液晶ディスプレイが不用意に開かないようにロックします。

b. 液晶ディスプレイ
パソコンの画面を表示します。

c. Support ボタン
Support ボタンには、次の機能があります。
- Windows 起動時
  「FMV サポートナビ」が起動し、「Q&A」や「日頃のメンテナンス」などのサポート機能を簡単に始めることができます。
- シャットダウン時
  Windows が起動しないときにも、「ハードウェア診断」や「マイリカバリで戻す」などトラブル解決に役立つサポート機能を使うことができます。
  （※ スリープ中の場合には「FMV サポートナビ」が起動します。）

詳しくは、『トラブル解決ガイド』→「充実のサポート機能で安心・快適」をご覧ください。

d. 電源ボタン
パソコンの電源を入れたり、スリープ／レジュームさせるためのボタンです。

e. 電源ランプ
パソコンの電源が入っているときに点灯します。

f. スピーカー
パソコンの音声が出力されます。

g. 状態表示 LED（P.15）
パソコンの状態が表示されます。

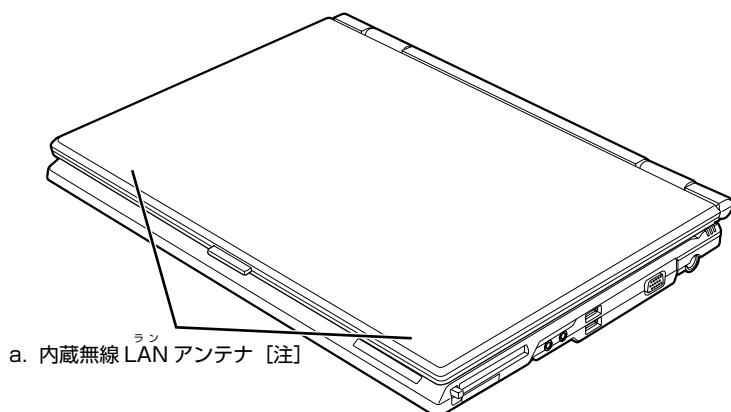
h. フラットポイント（P.31）
マウスポインタを操作します。

i. ワイヤレススイッチ
無線 LAN の電波の発信状態を切り替えます。

パソコン本体前面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000270」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」

2 各部の名称と働き

パソコン本体上面

（イラストは機種や状況により異なります）

注：無線 LAN 搭載機種のみ

a. 内蔵無線 LAN アンテナ
無線 LAN 用のアンテナが内蔵されています。

パソコン本体上面の各部の名称について、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

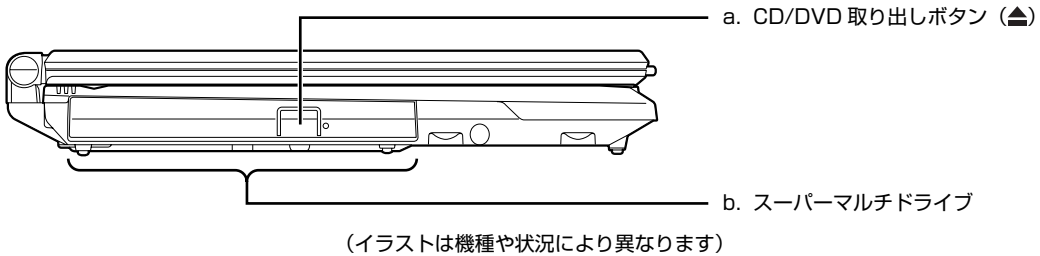
参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000260」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体上面」

3 各部の名称と働き

パソコン本体側面

パソコン本体左側面

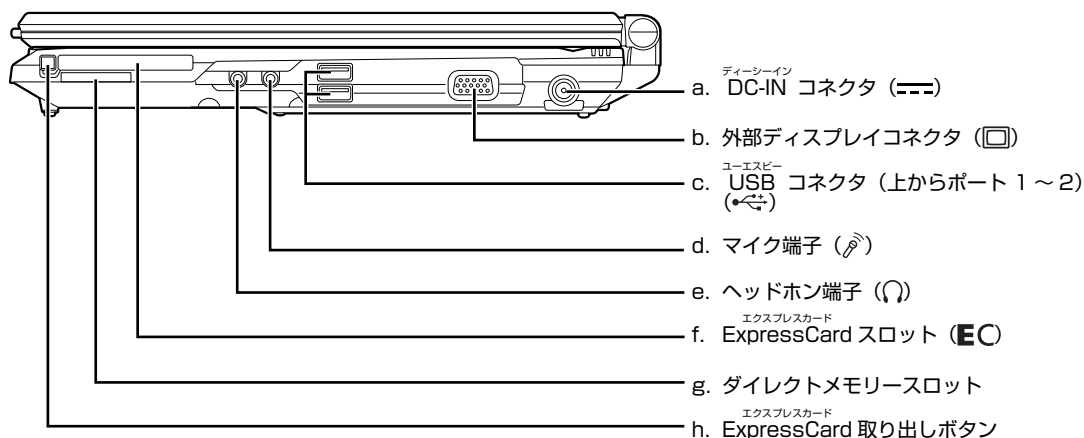
（イラストは機種や状況により異なります）

a. CD/DVD 取り出しボタン（▶P.39）
ディスクをセットしたり取り出したりするときに押します。パソコンの電源が入っているときに使えます。

b. スーパーマルチドライブ（▶P.39）
CD や DVD の読み出しや書き込みをしたり、音楽 CD や DVD-VIDEO の再生をしたりできます。

パソコン本体左側面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000280」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」→「パソコン本体左側面」

パソコン本体右側面

a. DC-IN コネクタ

添付の AC アダプタを接続するためのコネクタです。

b. 外部ディスプレイコネクタ

別売のアナログディスプレイなど、外部ディスプレイを接続するためのコネクタです。

c. USB コネクタ（上からポート 1 〜 2）

USB マウス、デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

d. マイク端子

市販のマイクを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。

e. ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続することができます（外径 3.5mm のミニプラグに対応）。

f. ExpressCard スロット

ExpressCard をセットするためのスロットです。

g. ダイレクトメモリースロット（••▶P.43）

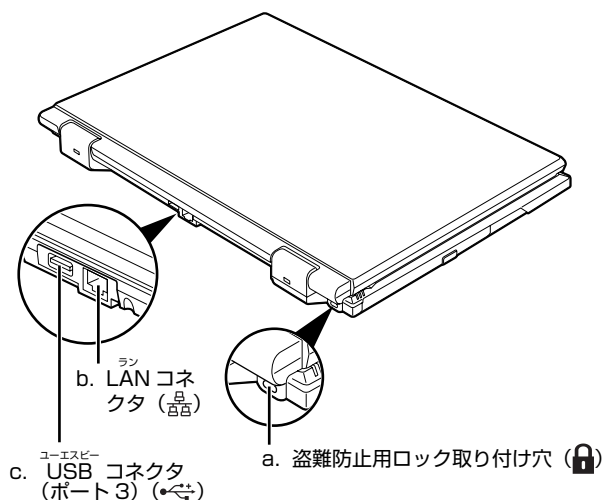
SD メモリーカードをセットするためのスロットです。
miniSD カードや microSD カードなどは、アダプタを使用してください。

h. ExpressCard 取り出しボタン

ExpressCard を取り出すときに押します。

パソコン本体右側面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000280」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」→「パソコン本体右側面」

パソコン本体背面

a. 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを接続することができます。

b. LAN コネクタ

インターネットやホームネットワークをするとき、別売のLANケーブルを使ってLANに接続するためのコネクタです。

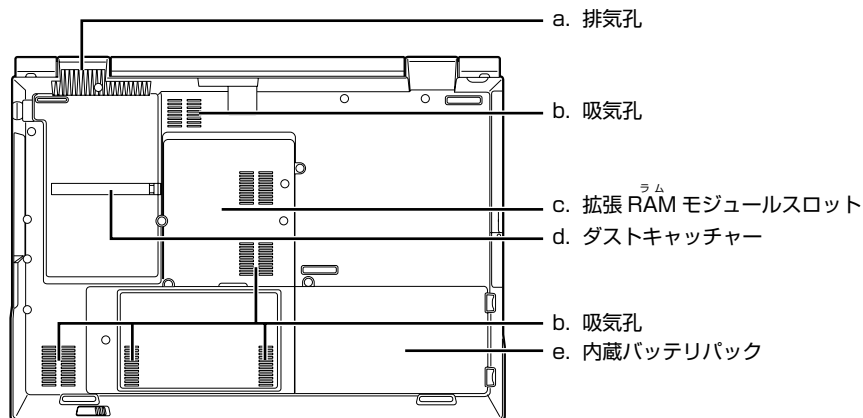
c. USB コネクタ（ポート 3）

USB マウス、デジタルカメラ、プリンタなどの USB 規格の周辺機器を接続するためのコネクタです。

パソコン本体背面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000300」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」

5 各部の名称と働き

パソコン本体下面

（イラストは機種や状況により異なります）

a. 排気孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。

b. 吸気孔
空冷用ファンが空気を取り込むための穴です。

c. 拡張 RAM モジュールスロット（▶P.57）
このパソコンのメモリが取り付けられています。

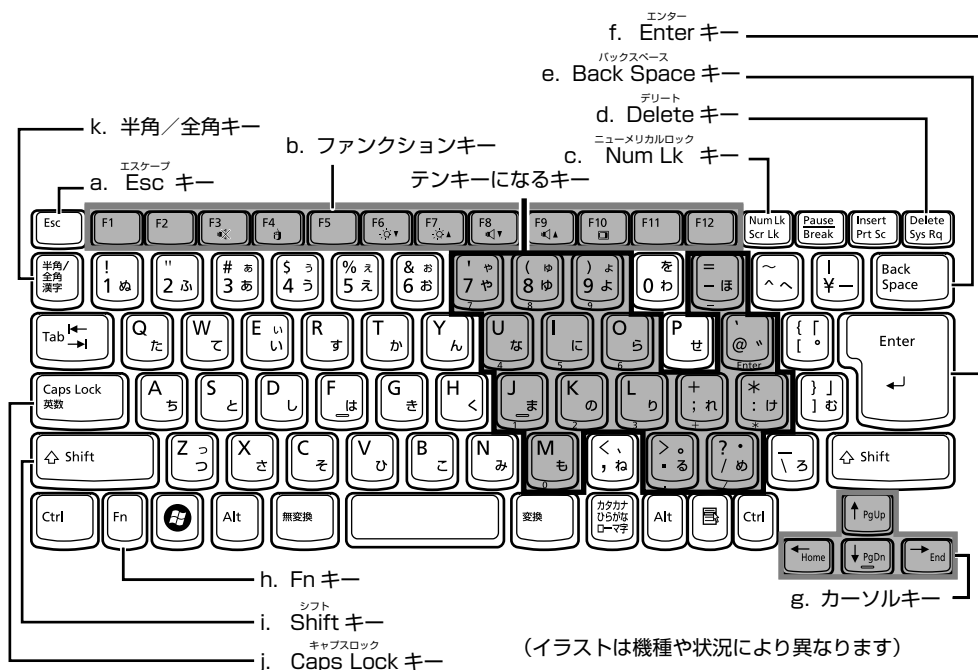
d. ダストキャッチャー
空冷用通風路に蓄積するほこりを取り除きやすくします。

e. 内蔵バッテリパック（▶P.29）
内蔵バッテリパックが装着されています。

パソコン本体下面の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000250」で検索
→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」

6 キーボード

（イラストは機種や状況により異なります）

a. Esc キー

現在の作業を取り消して、1 つ前に行った作業に戻るときなどに使います。

b. ファンクションキー

ソフトウェアごとにいろいろな機能が割り当てられます。青い刻印の機能は、【Fn】を押しながらそのキーを押して使います。

c. Num Lk キー

【Num Lk】を押すと、テンキーモードになります。もう一度押すと解除されます。
テンキーモードでは、イラストの「テンキーになるキー」部分がテンキー（数字を入力しやすい配列のキー）として使えるようになります。テンキーモードで入力される文字は、キーの前面に刻印されています。

d. Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除するときに使います。また、選択されているファイルやアイコン、文字列を削除します。

e. Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除するときに使います。

f. Enter キー

入力した文字を確定するときなどに使います。
リターン（改行）キーともいいます。

g. カーソルキー

カーソルを上下左右に移動するときに使います。

h. Fn キー

この【Fn】を押しながら青い刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

i. Shift キー

【Shift】を押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている文字や記号が入力できます。

j. Caps Lock キー

【Shift】を押しながら【Caps Lock 英数】を押すと、英大文字固定モードになります。もう 1 度押すと解除されます。

k. 半角／全角キー

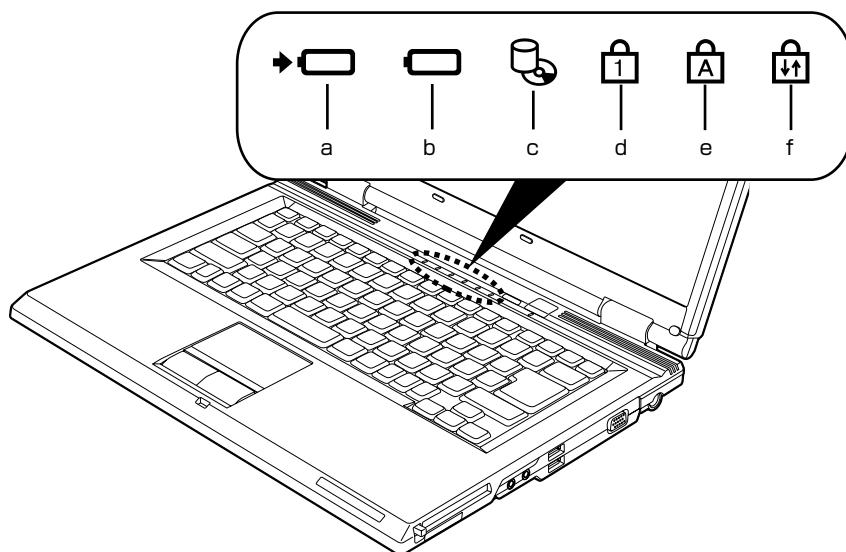
文字を入力するときに、半角と全角を切り替えます。全角にすると、日本語入力ができます。

その他のキーについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000220」で検索
→「各部の名称と働き：キーボード」

7 各部の名称と働き

状態表示 LED

（イラストは機種や状況により異なります）

a. バッテリ充電ランプ（）

パソコンに AC アダプタが接続されている場合に、バッテリの充電状態を表示します。

b. バッテリ残量ランプ（）

バッテリの残量を表示します。

c. ハードディスク／ CD アクセスランプ（）

内蔵ハードディスクや CD、DVD にアクセスしているときに点灯します。

d. Num Lock（ニューメリカルロック）ランプ（）

キーボードがテンキーモードの時に点灯します。
【Num Lk】キー（▶P.14）

e. Caps Lock（キャプスロック）ランプ（）

英大文字固定モード（英字を大文字で入力する状態）のときに点灯します。
【Caps Lock】キー（▶P.14）

f. Scroll Lock（スクロールロック）ランプ（）

画面をスクロールしないように設定（スクロールロック）したときに点灯します。
【Fn】を押しながら【Num Lk】を押して、スクロールロックの設定と解除を切り替えます。

状態表示 LED の各部の名称と働きについて、詳しい説明は次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「000230」で検索
→「各部の名称と働き：状態表示 LED」

第２章

パソコンの取り扱い

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

1 電源を入れる／切る

電源の入れ方と切り方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

AC アダプタを接続する

AC アダプタは差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

⚠ 警告

・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。

・AC アダプタは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体が故障する原因となります。

POINT

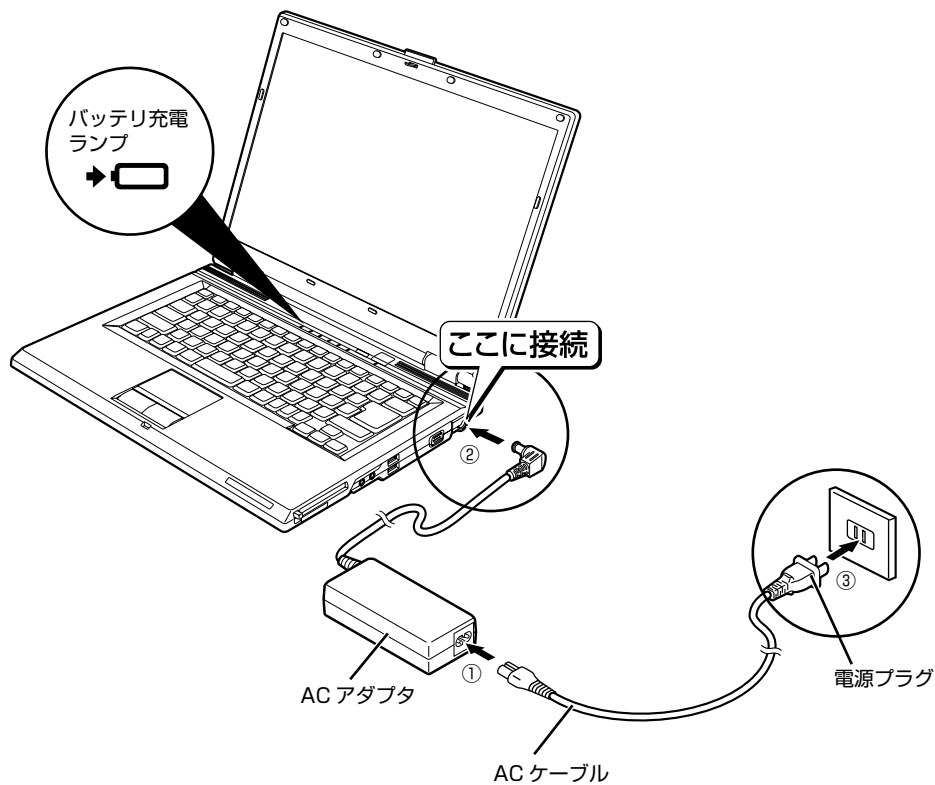
AC アダプタは熱くなる場合があります

パソコンの使用中は、AC アダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを押してロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

2 **ACアダプタを取り付けます。**

① AC アダプタに AC ケーブルを接続し、②パソコン本体の DC-IN［ディーシーイン］コネクタに接続します。③その後、電源プラグをコンセントに接続します。
正しく接続すると、状態表示 LED［エルイーディー］のバッテリ充電ランプ（→□）が点灯します。

（イラストは機種や状況により異なります）

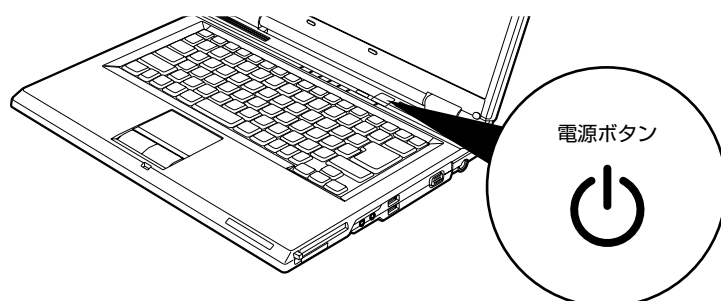
電源を入れる

ここでは電源の入れ方のうち Windows を起動する方法を説明しています。

重要

電源を入れるときの注意

・電源を入れて本製品が起動するまでは、むやみにキーボードやフラットポイントに触らないでください。正常に起動できなくなる場合があります。
・パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリ切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。

1 電源ボタン（⏻）を押します。

（イラストは機種や状況により異なります）

電源ランプが点灯し、画面に文字などが表示されます。

■Windows のログオンパスワードを設定していない場合は、手順 4 に進んでください。
■Windows のログオンパスワードを設定している場合は、手順 2 に進んでください。

重要

電源ボタンは短く押してください

電源ボタンは、4 秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れてしまいます。データが失われることもありますので、ご注意ください。

2 お使いのユーザー名をクリックします。

（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

3 Windows のログオンパスワードを入力し、➡をクリックします。

4 このような画面が表示されたことを確認します。

POINT

Windows が起動しない場合

バッテリ残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。
次の点を確認してください。

・ AC アダプタを取り付けているとき
  AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
  「AC アダプタを接続する」（••▶P.18）
・ バッテリで使うとき
  バッテリの残量が充分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、次のマニュアルをご覧ください。

『トラブル解決ガイド』
→「Q&A 集」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「起動／終了」

電源を切る

ここでは電源の切り方のうち Windows を終了する方法を説明しています。
必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。
このパソコンを使わないときは、Windows を終了せずに「待機状態（スリープ)」にしておくこともできます。スリープにする方法については、「パソコンを待機状態にする／復帰させる」（▶P.25）をご覧ください。

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめデータを保存した後、ソフトウェアを終了してください。

2 CD や DVD がセットされていたら、CD/DVD 取り出しボタンを押して取り出します。

POINT

CD や DVD を入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

3 （スタート）をクリックします。

（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

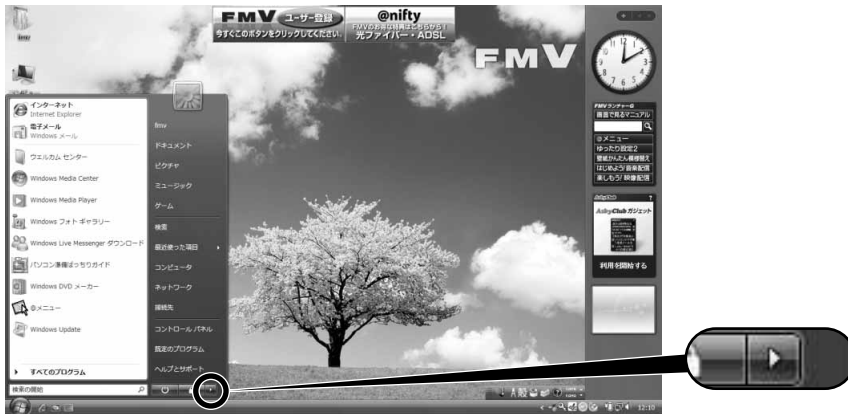
次のページへ

パソコンが動かなくなり操作できない場合

パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源を切る操作ができないときは、次のマニュアルをご覧ください。

『トラブル解決ガイド』
→「Q&A 集」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「起動／終了」

それでも電源が切れないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

4 ▶をクリックします。

5 「シャットダウン」をクリックします。

しばらくすると Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます。

パソコンを待機状態にする／復帰させる

このパソコンを使わないときは、パソコンの電源を切らずに待機状態にしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。
待機状態にはスリープと休止状態があります。ここでは、パソコンをスリープにする方法と、スリープから復帰する方法について説明します。

POINT

次の場合はパソコンの電源を切ってください

・パソコンを長期間使わないとき
・パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったとき

上記のような場合はいったんパソコンの電源を切り、再度電源を入れ直してください。
電源の切り方については、「電源を切る」（••▶P.23）をご覧ください。

パソコンをスリープする

1 **（スタート）→ をクリックします。**

パソコンがスリープの状態になります。スリープ中は、電源ランプが点滅します。

スリープから復帰する

1 **電源ボタン（⏻）を押します。**

パソコンがスリープから復帰（レジューム）します。電源ボタンは 4 秒以上押し続けないでください。パソコンの電源が切れてしまいます。

POINT

スリープについて

・パソコンの電源を切らずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、パソコンを待機状態にすることです。スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。ご購入時の設定では、スリープしてから一定時間経過するか、バッテリの残量が少なくなると、データなどの保存先をメモリからハードディスクに切り替えて、パソコンの電源を切るようになっています。
・スリープにした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。
　必ず 10 秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。

スリープや休止状態については、次のマニュアルもご覧ください。

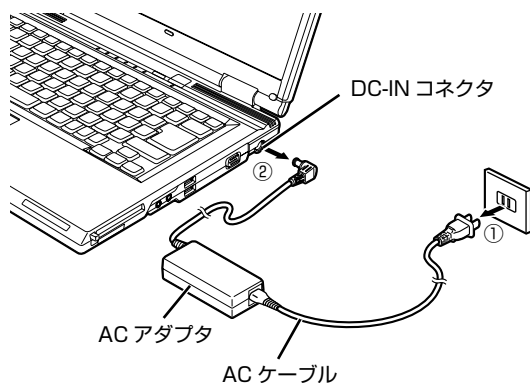
参照

『画面で見るマニュアル』»「000410」で検索
→「省電力機能を使う」

AC アダプタを取り外す

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、AC アダプタを取り外します。

1 AC アダプタを取り外します。

① AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、② AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。

（イラストは機種や状況により異なります）

重要

パソコン使用中に AC アダプタを取り外す場合

パソコンを使っている途中で AC アダプタを取り外し、バッテリでパソコンを使うときは、バッテリが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリが充電されていない場合があるので、ご注意ください。

AC アダプタを取り外した状態でのご注意

パソコンは電源を切った状態でも少量の電力を消費しています。そのため、AC アダプタを取り外した状態ではバッテリの残量が少しずつ減っていきます。
長時間 AC アダプタを取り外していた場合は、お使いになる前に AC アダプタを接続してから電源を入れてください。バッテリの残量を減らさないためには、AC アダプタを接続しておくか、長期間パソコンを使用しない場合には内蔵バッテリを外してください。

2 液晶ディスプレイを閉じます。

液晶ディスプレイは静かに閉じてください。

重要

液晶ディスプレイを閉じる場合

・液晶ディスプレイは、ディスプレイの中央部に手を添えて、静かに閉じてください。液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。
・液晶ディスプレイの間に文房具などを挟まないようにしてください。

画面で見るマニュアル 添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

2 バッテリで使う

バッテリで使うには

このパソコンは、バッテリを使って動作させることができます。
ここでは、バッテリの充電方法やバッテリでパソコンを使う方法について説明しています。

充電してバッテリで使う

1 パソコンに AC アダプタを接続します。

AC アダプタを接続すると充電が始まり、バッテリ充電ランプがオレンジ色に点灯します。
バッテリ充電ランプ（）は、次のように表示されます。

グリーン点灯	充電終了
オレンジ点灯	充電中

2 バッテリ充電ランプがグリーン点灯に変わったことを確認し、AC アダプタを取り外します。

3 電源ボタンを押します。

重 要

バッテリ異常の表示

・バッテリ温度アラームの表示（バッテリ充電ランプ）
バッテリ充電ランプのオレンジ点滅は、内蔵バッテリパックが熱を持って温度が高くなったり、冷やされて温度が低くなったときに、バッテリの保護機能が働いて充電を停止していることを表しています。しばらくして内蔵バッテリパックの温度が平常に戻ると、オレンジ点灯になり充電を再開します。

バッテリの残量を確認する

バッテリ残量は、電源が入っているときや充電中に、状態表示 LED のバッテリ残量ランプで確認できます。

■バッテリの残量ランプ（▭）は、次のように表示されます

パソコンが動作状態またはバッテリ充電中のときは点灯し、スリープのときは点滅します。

グリーン点灯	バッテリ残量　100 ～ 50%
オレンジ点灯	バッテリ残量　49 ～ 13%
レッド点灯	バッテリ残量　12%以下
オレンジ点滅	バッテリ残量計測中（内蔵バッテリパック装着後 4 秒間）
レッド点滅	バッテリ異常時
消灯	バッテリ未接続時

重要

バッテリの異常の表示

・バッテリ異常の表示（バッテリ残量ランプ）
　バッテリ残量ランプが、早い間隔でレッド点滅する場合は、バッテリが正しく充電できないことを示します。

LOW［ロウ］バッテリ状態

バッテリが LOW バッテリ状態になると、状態表示 LED のバッテリ残量ランプがレッド点灯／点滅します。すみやかに AC アダプタを接続して、バッテリを充電してください。

バッテリについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

▼ バッテリの注意事項について
▼ バッテリの異常表示がされた場合
『画面で見るマニュアル』 »「000590」で検索
→「バッテリで使う」

内蔵バッテリパックを交換する

バッテリを長期間使用すると充電する能力が低下するため、バッテリ稼働時間が短くなります。稼働時間が極端に短くなってきたら、新しいバッテリに交換してください。
使用できるバッテリについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

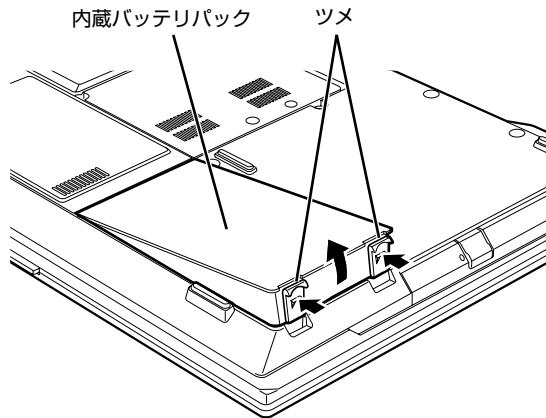
『画面で見るマニュアル』 »「000560」で検索
→「内蔵バッテリパックを交換する」→「必要なものを用意する」

警告

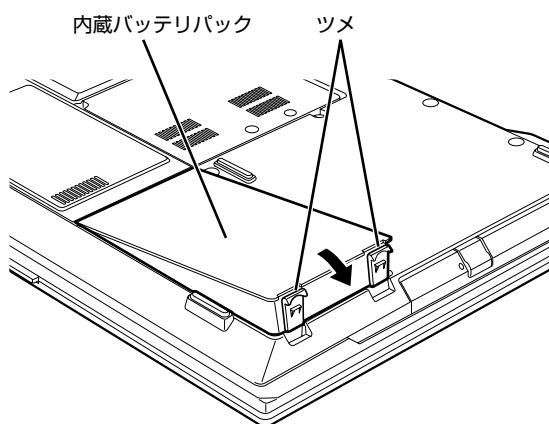
・バッテリパックの交換を行う場合は、パソコン本体の電源を必ず切り AC アダプタを取り外してください。また、パソコン本体やバッテリパックのコネクタに触れないでください。
感電や故障の原因となります。

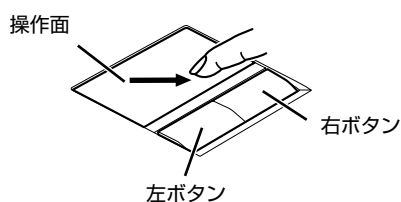
1 **パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。**

2 **液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。**
液晶ディスプレイを閉じる場合は、文房具などを挟まないようにして静かに閉じてください。

3 **ツメを矢印の方向に押しながら、内蔵バッテリパックを斜め上に持ち上げて取り外します。**
内蔵バッテリパックがコネクタから外れます。

4 新しい内蔵バッテリパックを取り付けます。

新しい内蔵バッテリパックを斜め上から差し込み、ツメがカチッと音がするまでしっかりはめこみます。

3 フラットポイントを使う

フラットポイントについて

フラットポイントは、指先の操作でマウスポインタを動かすことのできる便利なポインティングデバイスで、操作面とその手前にある 2 つのボタンで構成されています。
操作面は、マウスでいえばボール部分の機能を持ち、指先で上下左右になぞることにより、画面上のマウスポインタを移動させます。
左右のボタンは、それぞれマウスの左右のボタンに相当し、その機能はソフトウェアにより異なります。

（イラストは機種や状況により異なります）

フラットポイントをお使いになるときは、次の点にご注意ください

・フラットポイントは操作面表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいは操作面の表面が汚れている場合は、マウスポインタが正常に動作しないことがあります。電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。

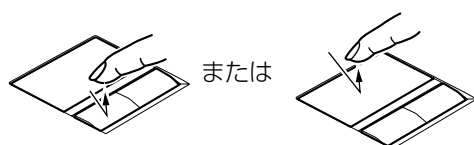
USB［ユーエスビー］マウスを使用することもできます

▼マウスの接続方法について
『画面で見るマニュアル』»「000680」で検索
→「マウスを接続する」

フラットポイントの使い方

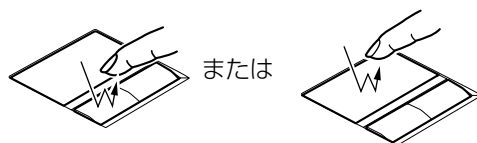
■クリック／タップ

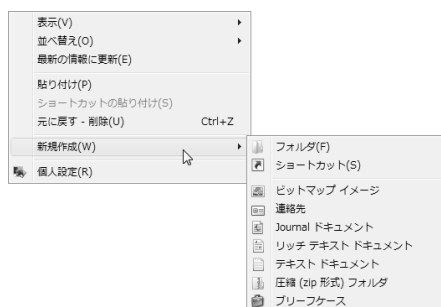
左ボタンをカチッと 1 回押して、すぐ離すか、操作面を1回タップ(軽くたたく)することです。
また、右ボタンを 1 回カチッと押すことを「右クリック」といいます。

または

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

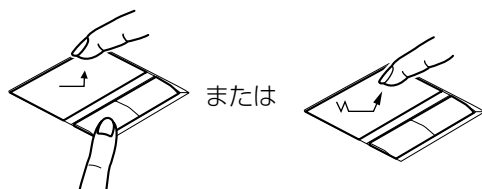
■ダブルクリック／ダブルタップ

左ボタンをカチカチッと 2 回素早く押して、すぐ離すか、操作面を 2 回連続してタップすることです。

または

■ポイント

マウスポインタをメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されます。また、ポイントしたメニューの下にサブメニューがある場合（メニューの右端に ▶ が表示されています）、サブメニューが表示されます。

■ドラッグ

左ボタンを押しながら希望の位置まで操作面をなぞり、指を離します。
左ボタンを使わない場合は、操作面を素早く 2 回タップし、2 回目のタップのときに指を操作面上から離さないで、希望の位置まで操作面をなぞり、指を離します。

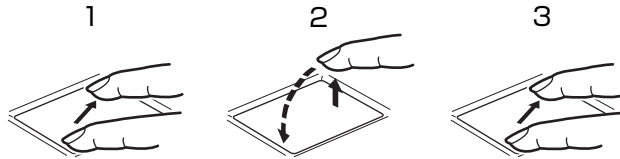
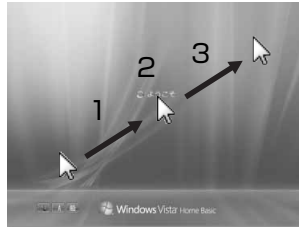
または

フラットポイントについては、次のマニュアルもご覧ください。

▼ フラットポイントについて

『画面で見るマニュアル』 » 「000640」で検索

→「フラットポイントを使う」

指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。

指を離している間はマウスポインタは動きません。

うまくクリックできない場合

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、ポインタの位置がずれないように、気を付けてください。

2

音量を調節する

スピーカーやヘッドホンの音量は、キーボードなどで調節できます。

重要

音量の調節について

スピーカーが故障する原因となる場合があるので、音量はスピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調整してください。

1 キーボードで、適切な音量に調節します。

■音量を小さくしたい場合
【Fn】を押しながら、【F8】を押します。
■音量を大きくしたい場合
【Fn】を押しながら、【F9】を押します。
■音を消したい場合
【Fn】を押しながら、【F3】を押します。
もう一度【Fn】を押しながら【F3】を押すと、画面下部に現在の音量を示すインジケータが表示され、音が出るようになります。

音量小 ←→ 音量大

通知領域ので音量を調節する

通知領域のアイコンでも調節できます。その他、音量調節については、次のマニュアルをご覧ください。

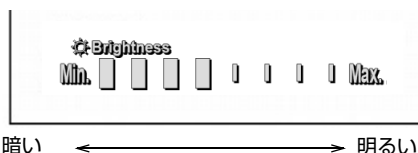
参照
『画面で見るマニュアル』»「000190」で検索
→「音量を調節する」

5 パソコンの取り扱い
液晶ディスプレイの明るさを調節する

キーボードで画面の明るさを、8 段階に変更できます。

1 明るさを設定します。

■明るくする場合
【Fn】を押しながら【F7】を押す
■暗くする場合
【Fn】を押しながら【F6】を押す
画面下部に明るさを示すインジケータが表示されます。

暗い ←→ 明るい

POINT

うまく調節できない場合

パソコンを再起動したり、スリープからレジュームしたり、AC アダプタの取り付けや取り外しを行った直後は、キーボードで明るさを変更しても有効にならないことがあります。しばらくしてから、変更してください。

明るさの設定について

・キーボードで画面の明るさを設定しても、パソコンを再起動したり、スリープや休止状態から復帰したり、AC アダプタの取り付けや取り外しを行った直後は、変更前の明るさに戻ります。
・ご購入時は、AC アダプタを接続している場合は明るく、バッテリで使っている場合は少し暗くなるように設定されています。
・明るさの設定は、AC アダプタを接続している場合と、バッテリで使っている場合とで別々に変更できます。

明るさの設定については、次のマニュアルもご覧ください。

『画面で見るマニュアル』»「000180」で検索
→「液晶ディスプレイの明るさを変更する」

パソコンの取り扱い

CD/DVDを使う

このパソコンで使えるディスク／使えないディスク

使えるディスク

このパソコンでお使いになることのできるディスクは、次のとおりです。

	種別	読みかたの例
CD	CD-ROM	シーディーロム
	CD-DA（音楽CD）	シーディーディーエー
	フォトCD	フォトシーディー
	ビデオCD	ビデオシーディー
	CD-R	シーディーアール
	CD-RW	シーディーアールダブル シーディーリライタブル
DVD	DVD-ROM	ディーブイディーロム
	DVD-VIDEO	ディーブイディービデオ
	DVD+R	ディーブイディープラスアール
	DVD+RW	ディーブイディープラスアールダブル
	DVD+R DL	ディーブイディープラスアールダブルレイヤー
	DVD-R	ディーブイディーアール ディーブイディーマイナスアール
	DVD-RW	ディーブイディーアールダブル ディーブイディーマイナスアールダブル
	DVD-R DL	ディーブイディーアールダブルレイヤー ディーブイディーマイナスアールダブルレイヤー
	DVD-RAM〔注〕	ディーブイディーラム

注：ディスクはお使いになる前に、フォーマットが必要です。

推奨ディスク

次のディスクの使用を推奨します。

下記以外のディスクをお使いの場合は、書き込み／書き換え速度が低下することがあります。また、下記以外の DVD-RW または DVD+RW をお使いの場合は、書き込みが正常に行えない場合や、再生できない場合があります。

なお、富士通サプライ品は、富士通コワーコ株式会社の取り扱い品です。
お問い合わせ先
富士通コワーコ株式会社　お客様総合センター
電話：0120-505-279
受付時間：9:00 ～ 17:30（土・日・祝日・年末年始除く）
URL：http://jp.fujitsu.com/coworco/

- **CD-R**
  太陽誘電：CDR-80WTY、CDR-80WPY
- **CD-RW**
  富士通サプライ品：CD-RW74/0241410
  三菱化学メディア：SW74QU1、SW74EU1、SW80QU1、SW80EU1
- **DVD-R**
  太陽誘電：DR-47WTY、DR-47TY
- **DVD-R DL**
  三菱化学メディア：DHR85YP1、DHR85H1
- **DVD-RW**
  日本ビクター：VD-W47H
- **DVD-RAM**
  松下電器　　：LM-HC47M（4.7GB、カートリッジ無）
  LM-HB47MA（4.7GB、カートリッジ有、取り出し可）
  LM-HB94M（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
  日立マクセル：DRM47PWC.S1P A（4.7GB、カートリッジ無）
  DRMC94C.1P（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
  DRM120C.1P A（4.7GB、カートリッジ無）
  DRMC240C.1P（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
- **DVD+R**
  三菱化学メディア：DTR47JP
  太陽誘電：DR+47WTY
- **DVD+R DL**
  三菱化学メディア：DTR85H1、DTR85NP1
- **DVD+RW**
  リコー：D4RWD-S1CW、D8RWD-S1CW
  三菱化学メディア：DTW47U1

使えないディスク

次のディスクはお使いにならないでください。

- 円形以外の異形ディスク（星型やカード型などの変形ディスク）
  このパソコンは円形のディスクのみお使いになれます。
  円形以外の異形ディスクをお使いになると故障する場合があります。
  異形ディスクをお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 規格外の厚さの DVD 媒体
  DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm ～ 1.5mm と規定しています。
  記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
  規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 傷またはヒビの入ったディスク
  傷またはヒビの入ったディスクをお使いになるとドライブ内部で破損する場合があります。
- カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM（Type1）
  DVD-RAM は、カートリッジ無しタイプ、またはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをお使いください。なお、カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM を、カートリッジから無理に取り出して使わないでください。

▼ このパソコンで使えるディスク／使えないディスクについて

→「使えるディスクと対応ソフトウェア」

ディスクをパソコンにセットする／取り出す

ここでは、ディスクをパソコンにセット／取り出しをする方法について説明しています。

ディスクをセットする

⚠注意

・ディスクをセットまたは取り出す場合は、トレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

重要

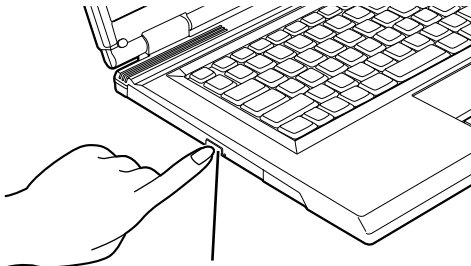
ディスクをセットする場合

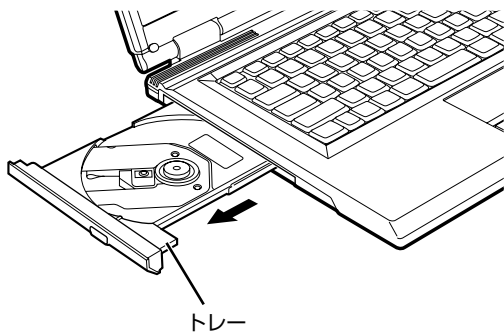
- CD や DVD に頻繁にアクセスしたり、DVD-VIDEO を再生したり、CD や DVD に書き込み、書き換えをしたりする場合は、パソコン本体に AC アダプタを取り付けることをお勧めします。
  パソコン本体に AC アダプタを取り付ける方法については、「AC アダプタを接続する」（••▶P.18）をご覧ください。
- ディスクをセットするときは、トレー中央の突起にディスクの穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。
  きちんとはめ込まないと、ディスクがドライブ内部で外れて、トレーやドライブの内部、およびディスクを破損する原因となることがあります。

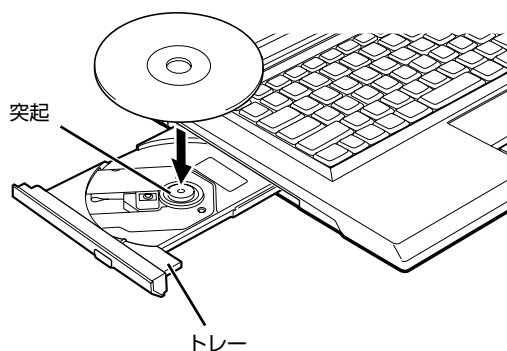
ディスクを再生する場合

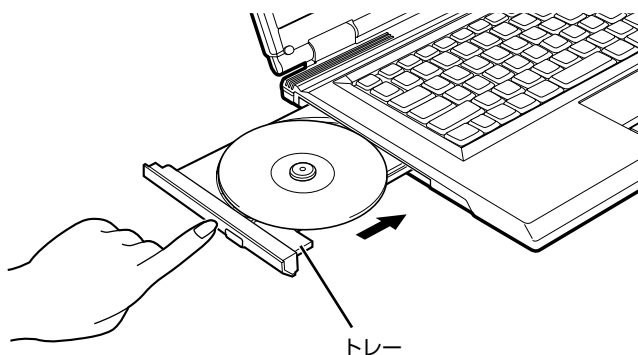
ディスクはデータの読み出しなどの際に高速回転するため、使用時には振動や風切音がすることがあります。

1 **CD/DVD 取り出しボタンを押します。**

トレーが少し飛び出します。
電源が切れている場合は、電源を入れてから CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
状態表示 LED の が点滅中に CD/DVD 取り出しボタンを押してもかまいません。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 トレーを静かに引き出します。

3 トレーを支えながら、ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を上に（両面タイプの DVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を下に）して、トレー中央の突起にディスクの穴を合わせ、パチッと音がするまでしっかりとはめ込んでください。

4 トレーを静かに押し込みます。

ディスクをセットしてから、パソコンで使えるようになるまで、約 10 秒かかります。

「自動再生」ウィンドウが表示された場合

をクリックします。

（画面は状況により異なります）

ディスクを取り出す

注意

・ディスクをセットまたは取り出す場合は、トレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

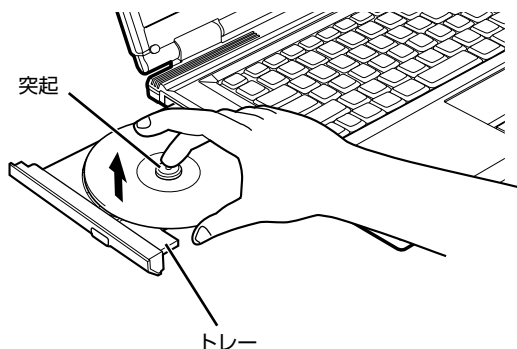
1 **ディスクを利用しているソフトウェアがあれば終了します。**

2 **CD/DVD 取り出しボタンを押します。**

トレーが少し飛び出します。
電源が切れている場合は、電源を入れてから CD/DVD 取り出しボタンを押してください。
状態表示 LED のが点滅中に CD/DVD 取り出しボタンを押してもかまいません。

3 **トレーを静かに引き出します。**

4 トレーを手で支えながらディスクを取り出します。

トレー中央の突起を押さえながら、ディスクがパソコン本体にぶつからないように、ディスクのふちを持ち上げてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

5 トレーを静かに押し込みます。

ディスクが取り出せなくなった場合は、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000052」で検索
→「ディスクをパソコンにセットする／取り出す」→「CD/DVD が取り出せなくなったら」

このパソコンでできることのご紹介

画面で見るマニュアルでは、次のようなことを説明しています。
この他にも様々な機能がありますので、画面で見るマニュアルをご覧ください。

参照

- ▼ DVD を見る
- ▼ CD や DVD にデータを保存する
- ▼ CD に音楽を保存する

『画面で見るマニュアル』
→「8. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」→「CD・DVD」

- ▼ 音楽 CD を聴く

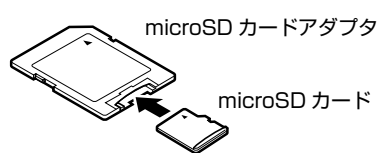
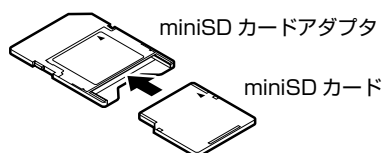
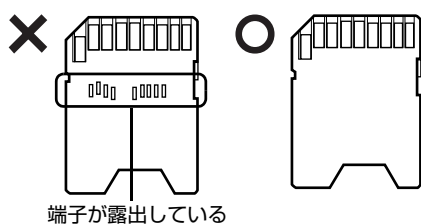
『画面で見るマニュアル』
→「8. 添付ソフトウェア一覧（カテゴリ別）」→「音楽・音声」→「パソコンで音楽を楽しむ」

7 メモリーカードを使う

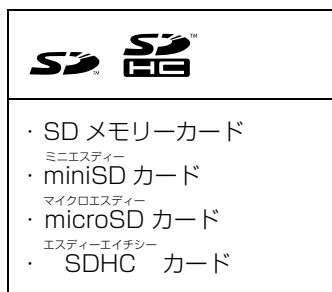
ここでは、このパソコンでお使いになれるメモリーカードの種類や、メモリーカードのセット方法、および取り出し方法について説明しています。
SD メモリーカードのことを、メモリーカードと呼んでいます。

メモリーカードをお使いになる上でのご注意

メモリーカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

- miniSD カードや microSD カードをお使いの場合は、アダプタが必要になります。
  miniSD カードや microSD カードをお使いの場合は、必ずアダプタにセットしてからお使いください。そのまま挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。
  また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプタにセットしたまま取り出してください。アダプタだけをダイレクトメモリースロットに残すと、故障の原因となります。

- miniSD カードのアダプタには、裏面の中央部から端子が露出している製品がありますが、このタイプのアダプタは使用しないでください。ダイレクトメモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となる場合があります。
  miniSD カードのアダプタは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。

使えるメモリーカード

ダイレクトメモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。
ダイレクトメモリースロットが対応しているメモリーカードは次のとおりです。

- SD メモリーカード
- miniSD（ミニエスディー）カード
- microSD（マイクロエスディー）カード
- SDHC（エスディーエイチシー）カード

POINT

メモリーカードについて

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
- 著作権保護機能（CPRM［シーピーアールエム］）には対応していません。
- 2GB を超える SD メモリーカードには対応していません。2GB を超える場合は、SDHC カードをお使いください。
- SDIO カードには対応していません。

メモリーカードをセットする／取り出す

⚠注意

- メモリーカードをセットまたは取り出す場合は、ダイレクトメモリースロットに指などを入れないでください。
  けがの原因となることがあります。

重要

メモリーカードをお使いになるときは、次の点にご注意ください

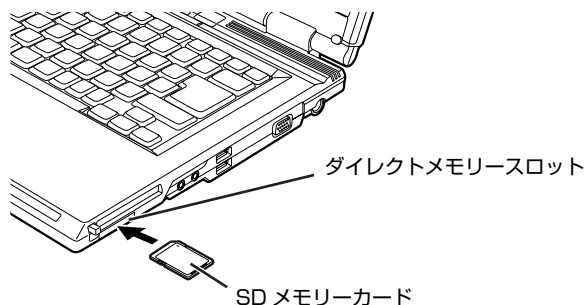
- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。Windows でフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

メモリーカードをセットする手順の動画を見ることができます

サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）で、メモリーカードをセットする手順の動画がご覧になれます。

メモリーカードをセットする

1 **メモリーカードをダイレクトメモリースロットにセットします。**

製品名のある面を上にして、奥までしっかりと差し込んでください。

※製品名のある面を上側にして、まっすぐにセットします。

（イラストは機種や状況により異なります）

メモリーカードを取り出す

1 **（スタート）→「コンピュータ」をクリックします。**

「コンピュータ」ウィンドウが表示されます。

2 **「コンピュータ」ウィンドウで、SD メモリーカードのアイコン上で右クリックします。**

3 **表示されるメニューから「取り出し」をクリックします。**

4 **アイコンの表示が「SD Card」から「SD Socket」に変わったら、メモリーカードをパソコンから取り出します。**

（イラストは状況により異なります）

メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。
飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

メモリーカードについて詳しくは次のマニュアルもご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』»「000700」で検索
→「メモリーカードを使う」

LAN（有線 LAN）機能を使う

LAN［ラン］（有線 LAN）機能を使うための、LAN コネクタについて説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

このパソコンの LAN 機能

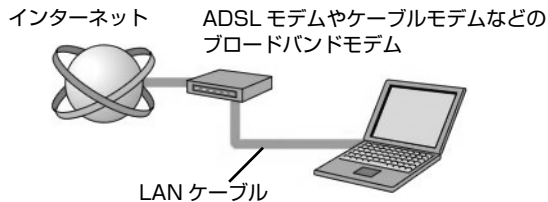
このパソコンでは、次のものが標準で準備されています。

- LAN コネクタ（LAN ケーブル用）
  100BASE-TX［ベースティーエックス］/10BASE-T［ベースティー］準拠

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、パソコンとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。

ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合

LAN（有線 LAN）をお使いになる場合に必要なものなどを説明します。
ここでは、ブロードバンドインターネットにパソコンを接続する例を説明します。

2

必要なものを用意する

このパソコンの他に、次のものが必要です。

- ブロードバンドモデム
  ADSL［エーディーエスエル］モデム、ケーブルモデムなど、インターネットの回線や、プロバイダにより異なります。
- ルーター
  異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークの中を流れるデータをきちんと目的の場所（パソコンやプリンタなど）に届けるための機器。一般的には、LAN と外部のネットワーク（インターネット）を結ぶために使われます。
  複数台のパソコンを接続する場合は必要です。ブロードバンドモデムに搭載されている場合もあります。
- ハブ
  ネットワーク上でケーブルを中継するための機器。
  複数台のパソコンを接続する場合に必要です。ルーターに搭載されている場合もあります。
- LAN ケーブル（ストレートタイプ）
  お使いになるネットワークのスピードに合ったものが必要です。接続するネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、必要なものをご用意ください。

LAN を使うための設定

LAN をお使いになるためには、必要な機器を LAN ケーブルで接続し、ネットワークの設定を行います。インターネットに接続する場合は、プロバイダより提供されるマニュアルに従って、機器の設定をしてください。

接続、設定の方法については、次のマニュアルでも説明しています。

参照

『画面で見るマニュアル』 »「000100」で検索
→「LAN を使う」

無線 LAN 機能を使う

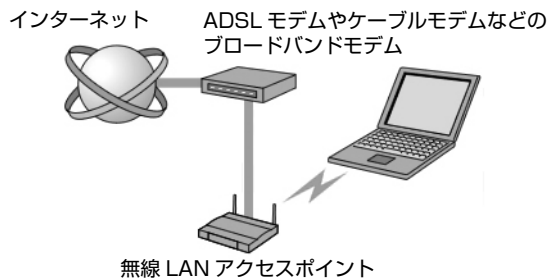
無線 LAN［ラン］機能について説明します。
ここでは、主にインターネットに接続する場合を例に説明します。

このパソコンの無線 LAN 機能

無線 LAN 搭載機種の場合、次の規格の無線 LAN(Wi-Fi®［ワイファイ］準拠）が搭載されています。

お使いの機種	IEEE802.11a	IEEE802.11b	IEEE802.11g	IEEE802.11n ドラフト
NF40Y, NF40YNで無線LANを選択した場合	−	○	○	−

インターネットを使うときの接続例

次のイラストは、ブロードバンドインターネットと接続している一例です。ネットワークの形態によって使用する機器が異なりますので、ネットワークに合ったものをご購入ください。

無線 LAN でインターネットに接続するには、無線 LAN アクセスポイントを利用する「インフラストラクチャ通信」という方式で通信します。
ブロードバンドモデムに電波を送受信する無線 LAN アクセスポイントを接続し、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの間を、LAN ケーブルの代わりに電波で送受信します。

ネットワークの種類やしくみについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』 » 「390010」で検索
→「ネットワークの種類やしくみ」

無線 LAN をお使いになる場合

2

必要なものを用意する

無線 LAN を使うためには、このパソコンの他に次のものが必要です。

- 無線 LAN アクセスポイント
  LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやり取りを行う無線 LAN では、「無線 LAN アクセスポイント」と呼ばれる機器が必要となります。無線 LAN アクセスポイントには主に次のものがあります。
  - ワイヤレス LAN ステーション
  - ワイヤレスブロードバンドルーター

無線 LAN を使うための設定

無線 LAN を使うには、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの設定を行います。
初めて設定する場合は、使用するネットワークの情報やデータの暗号化などを、無線 LAN アクセスポイントとパソコンの両方に設定します。
すでにネットワークで使われている無線 LAN アクセスポイントに接続する場合は、無線 LAN アクセスポイントと同じ設定になるように、パソコンを設定します。

無線 LAN については、次のマニュアルをご覧ください。

参照

▼ 初めてインターネットに接続する

『スタートガイド2　セットアップ編』
→「インターネットを始めるための準備」

▼ 無線 LAN の設定

『画面で見るマニュアル』 » 「001000」で検索
→「無線 LAN を使う」

▼ 別売の無線 LAN カードなどを使う

『画面で見るマニュアル』 » 「001020」で検索
→「別売の無線 LAN アダプタを使う」

第３章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器をお使いになる場合

ここでは、周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

⚠警告

・周辺機器の取り付け／取り外しを行うときは、本製品や周辺機器の電源を切った状態で行ってください。
AC アダプタや電源コードがコンセントにつながっている場合は、それらをコンセントから抜いてください。
感電の原因となります。

・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

USB マウス、プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。
また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、E メールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方について、本マニュアル内では、「メモリの増設／交換」（••▶P.55）について記載しています。また、画面で見るマニュアルでも、紹介しています。
お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

参照

『画面で見るマニュアル』
→「5. パソコン本体の取り扱い」

「画面で見るマニュアル」で調べる

1 **表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。**

例えば、プリンタを接続する場合は、「6. 周辺機器の接続」→「プリンタを接続する」をクリックします。

POINT

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、『サポート＆サービスのご案内』をご覧ください。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器によっては設定作業が必要です**
  パソコンの周辺機器の中には、接続するだけでは正しく使えないものがあります。このような機器は、接続した後で設定作業を行う必要があります。例えば、プリンタを使うには、取り付けた後に「ドライバのインストール」という作業が必要です。周辺機器の接続は、このマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください。
- **ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合**
  周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。オプションのFDDユニット(USB)をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。
- **マニュアルをご覧ください**
  ケーブル類を接続する場合は、次のマニュアルをご覧になり、接続時に間違いがないようにしてください。

参照

▼ ケーブル類を接続する場合

→「6. 周辺機器の接続」

  誤った接続状態で使用すると、このパソコンおよび周辺機器が故障する原因となることがあります。
  また、「画面で見るマニュアル」で説明している周辺機器の取り付け方法は一例です。「画面で見るマニュアル」とあわせて周辺機器のマニュアルも必ずご覧ください。
- **純正品をお使いください**
  弊社純正の周辺機器については、販売店にお問い合わせになるか、富士通ショッピングサイト「WEB MART(ウェブマート)」(http://www.fujitsu-webmart.com/)をご覧ください。
  他社製品につきましては、このパソコンで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- **ACPI[エーシーピーアイ]に対応した周辺機器をお使いください**
  このパソコンはACPIモードに設定されています。ACPIモードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能などが正しく動作しない場合があります。
- **周辺機器の電源は、パソコンの電源を入れる前に入れてください**
  電源を入れて使う周辺機器を取り付けた場合は、周辺機器の電源を入れてからパソコンの電源を入れてください。また、周辺機器の電源を切るときは、パソコンの電源を切ってから周辺機器の電源を切ってください。

重要

周辺機器を取り付ける場合

・コネクタに周辺機器を取り付ける場合は、コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください。
・複数の周辺機器を取り付ける場合は、1つずつ取り付けて設定を行ってください。

2 メモリの増設／交換

パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

必要なものを用意する

■メモリ（拡張 RAM［ラム］モジュール）

FMVNM51J4（512MB）、FMVNM1GJ4（1GB）のメモリが取り付けられます。

■プラスのドライバー（ドライバーサイズ：1 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズ（M2.5）に合ったものをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジの頭をつぶすおそれがあります。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。
なお、組み合わせによってはあらかじめ取り付けられているメモリを交換したり、取り外したりする必要があります。

■ご購入時のメモリの組み合わせ

お使いの機種	総容量	スロット 1	スロット 2
NF40Y, NF40YN（1GB を選択）	1GB	512MB	512MB
NF40YN（2GB を選択）	2GB	1GB	1GB

■メモリの組み合わせ例

メモリを取り付けたり交換したりする場合は、次の表のように組み合わせてください。

総容量	スロット 1	スロット 2
1GB	512MB	512MB
	1GB	なし
1.5GB	1GB	512MB
2GB（最大）	1GB	1GB

POINT

次の表の組み合わせはデュアルチャネル対応です

総容量	スロット 1	スロット 2
1GB	512MB	512MB
2GB	1GB	1GB

メモリ取り扱い上の注意

⚠警告

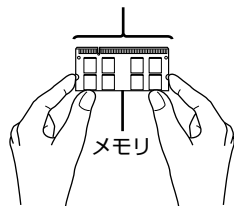
・メモリの取り付け／取り外しを行う場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、AC アダプタやバッテリ、周辺機器を取り外してください。スリープや休止状態では、取り付け／取り外しを行わないでください。
感電の原因となります。また、データが消失したり、パソコン本体やメモリが故障する原因となることがあります。

・取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。
誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠注意

・メモリの取り付け位置のすぐそばに高温になる部分があります。
メモリの取り付け／取り外しを行うときは、パソコン本体の電源を切って、しばらくしてから行ってください。火傷の原因になることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体に留まった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- 操作に必要な箇所以外には手を触れないでください。故障の原因となることがあります。
- パソコンの部品など不要な物を、パソコン本体内部に落とさないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- メモリは下図のようにふちを両手で持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。指の油分などが付着すると、接触不良の原因となることがあります。

メモリを増やす

メモリは、パソコン本体下面の拡張 RAM モジュールスロットに取り付けます。
メモリスロットにメモリを取り付ける場合と、取り付けられているメモリを交換する場合で手順が異なります。お使いのパソコンの状態を確認して、正しく行ってください。

POINT

メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

3

1 **パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。**

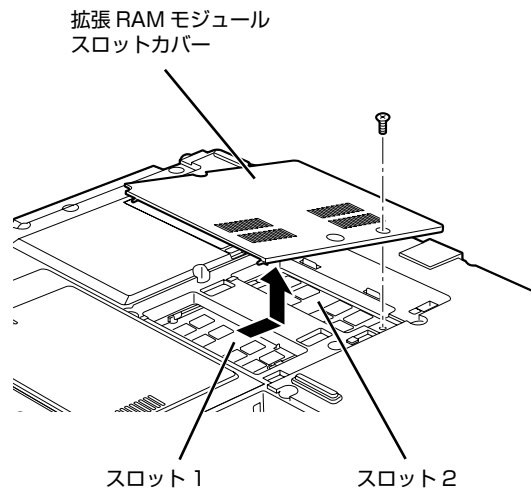
2 **液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。**

3 **内蔵バッテリパックを取り外します。**

内蔵バッテリの取り外し方は、「内蔵バッテリパックを交換する」（••▶P.29）をご覧ください。

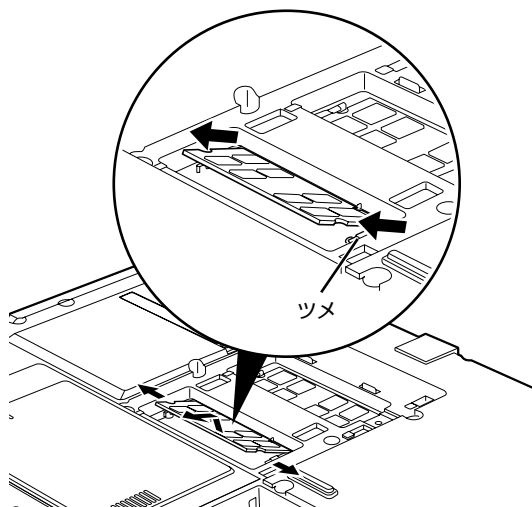
4 **メモリの組み合わせを確認します。**

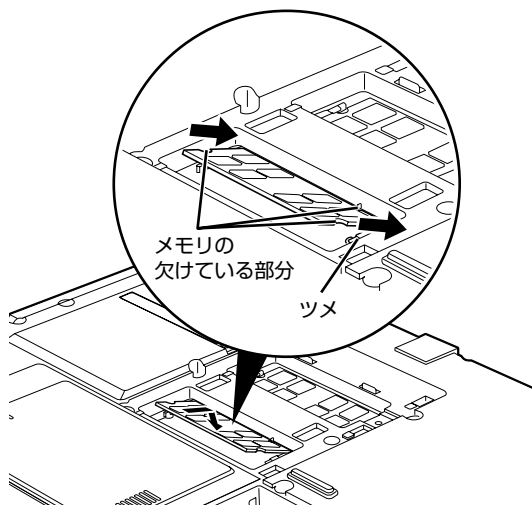
メモリの組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」（••▶P.55）をご覧ください。

5 **ネジ（1ヶ所）を取り外し、拡張 RAM モジュールスロットカバーを矢印の方向にスライドさせてから取り外します。**

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

次のページへ

6 交換したいメモリを取り外します。

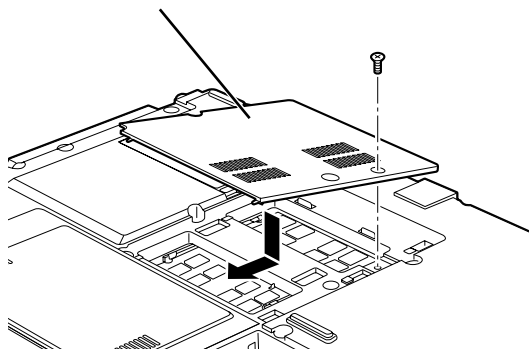
メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がるので、両手でメモリのふちを持って斜め上の方向に引っ張り、スロットから取り外します。

7 メモリを取り付けます。

両手でメモリのふちを持って、メモリの欠けている部分とコネクタの突起を合わせ、斜め上からしっかりと差し込み、パチンと音がするまで下に倒します。
メモリを押さえている両側のツメが、きちんとはまったことを確認してください。

重要

メモリを取り付けるときのご注意

- メモリを取り付けるときは、端子や IC に触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようとすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

8 拡張 RAM モジュールスロットカバーを取り付けます。

カバーを取り付け、矢印の方向に少しスライドさせてネジ穴を合わせてから、ネジで固定します。

9 内蔵バッテリパックを取り付けます。

内蔵バッテリの取り付け方は、「内蔵バッテリパックを交換する」(••▶P.29)をご覧ください。

続いて、メモリが正しく取り付けられたか、メモリの容量を確認しましょう(••▶P.60)。

メモリ容量を確認する

1 **パソコン本体の電源を入れます。**

> **重要**
>
> **画面に何も表示されないときは**
>
> メモリが正しく取り付けられていないと、電源を入れたときに「拡張メモリエラー」または「メモリエラーです。」というメッセージや英語のメッセージが表示されたり、画面に何も表示されないことがあります。その場合は電源ボタンで電源を切り、メモリを取り付け直してください。

2 **（スタート）→「コントロールパネル」の順にクリックします。**

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

3 **「システムとメンテナンス」をクリックします。**

4 **「システム」をクリックします。**

5 **○で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかどうかを確認します。**

メモリ容量の数値が正しくない場合は、メモリがきちんと取り付けられているかどうかを確認してください。

メモリ容量の表示はお使いのパソコンによって異なります。
このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、取り付けたメモリの総容量より、8MB 少なく表示されます。
また、お使いのシステム構成によってはさらに 4MB 少なく表示される場合があります。

6 **ウィンドウの右上にある をクリックして、ウィンドウを閉じます。**

第 4 章

お手入れ

FMV のお手入れ

ここでは、FMV を快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明しています。

パソコン本体および添付品のお手入れ

⚠警告

・感電やけがの原因となるので、お手入れの前に、次の事項を必ず行ってください。
　・パソコン本体の電源を切り、AC アダプタとバッテリを取り外してください。
　・プリンタなど、周辺機器の電源を切り、パソコン本体から取り外してください。

重要

キーボードのキーとキーの間のホコリなどをとる場合

- ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
- ホコリなどを取る場合は、柔らかいブラシなどを使って軽くホコリを取り除いてください。その際、毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となる場合があります。

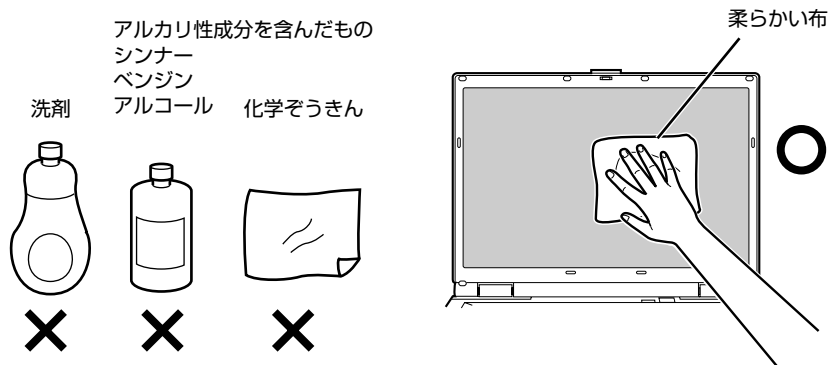
パソコン本体やマウスの汚れは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を、固く絞って拭き取ってください。中性洗剤を使用して拭いた場合は、水に浸した布を固く絞って中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りの際は、パソコン本体やマウスに水が入らないよう十分に注意してください。なお、シンナーやベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきんは絶対に使わないでください。
マウスのお手入れの際は、マウスをパソコン本体から取り外してください。

液晶ディスプレイのお手入れ

液晶ディスプレイの汚れは、乾いた柔らかい布かメガネ拭きで軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。

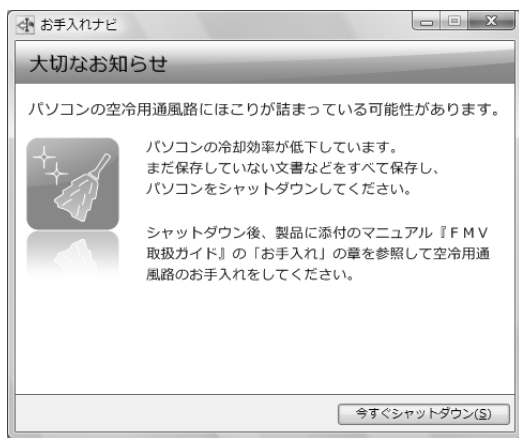
重要

液晶ディスプレイのお手入れをするときは、次の点にご注意ください

- 液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 市販のクリーナーや化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
  - アルカリ性成分を含んだもの
  - 界面活性剤を含んだもの
  - アルコール成分を含んだもの
  - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
  - 研磨剤を含むもの

CD/DVD ドライブのお手入れ

市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーを使うと、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合があります。故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
うまく読み取れない場合には、ディスクの指紋、ほこりなどの汚れを拭き取ることで改善されることがあります。拭き取り方法はディスクの種類により異なります。詳しくはディスクの説明書／レーベル等をご覧ください。

空冷用通風路のお手入れ

このパソコンは、性能を維持するために放熱用のファンを内蔵しています。放熱用ファンは、パソコンの外と内の間に空気の流れを作ってパソコン内部を冷却しているため、ご利用の環境によってはパソコン内部に周囲のほこりを取り込んでしまうことがあります。このほこりが徐々に蓄積していくと、パソコンが本来の性能を発揮できなくなる場合があります。
このパソコンでは、「お手入れナビ」というソフトウェアにより、パソコン内部の温度やパソコンの総利用時間をチェックすることによって、お手入れの時期をお知らせします。
「パソコンの空冷用通風路にほこりが詰まっている可能性があります。」というメッセージが表示された場合、この後の手順に従って正しく清掃を行い、ほこりを取り除いてください。

空冷用通風路の清掃方法

重要

AC アダプタを取り外してください

感電のおそれがありますので、清掃前には必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。

充分に換気してください

清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、充分に換気してください。

次のことにご注意ください

- 洗剤は使用しないでください。
- 清掃時に破損した場合、保証期間にかかわらず修理は有償となります。取り扱いについては、充分ご注意ください。
- ほこりを取り除く際は、プラスチック製の楊子や歯間ブラシ等をお使いください。金属などの硬いものや、木製の折れやすいものなどを使うと故障の原因となります。

パソコン本体内部は静電気に対して弱い部品で構成されています

パソコン本体内部は、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気によって破壊される場合があります。
パソコン本体内部のお手入れをする前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。

添付の冊子マニュアル ▶▶▶ このマニュアルの巻頭でご案内しています。

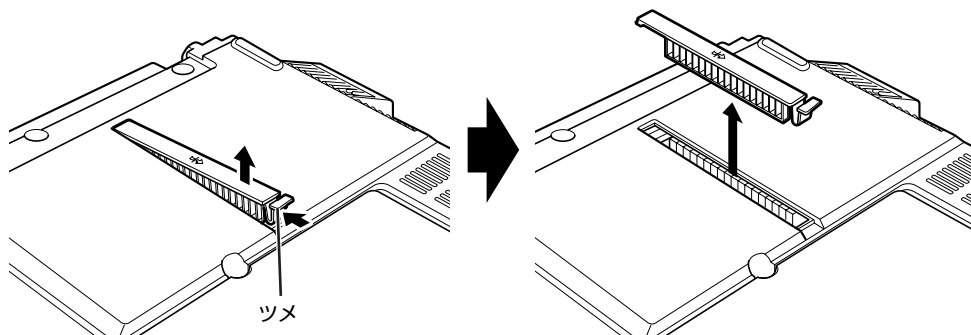
1 パソコン本体の電源を切り、AC アダプタを取り外します。

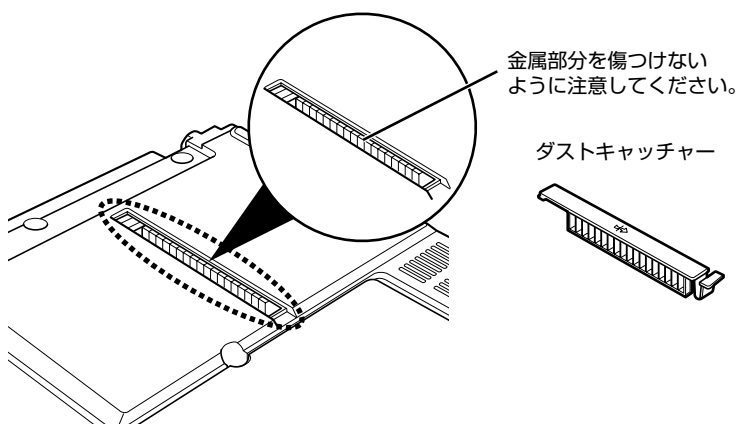
2 液晶ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返します。

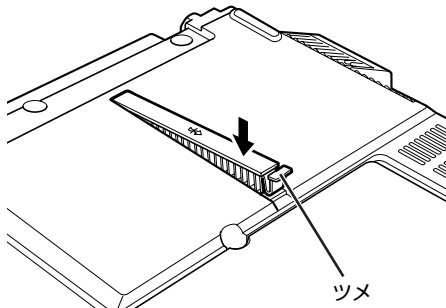
液晶ディスプレイを閉じる場合は、文房具などを挟まないようにして静かに閉じてください。

3 ダストキャッチャーを取り外します。

ツメを矢印の方向に押しながら、ダストキャッチャーを取り外します。

4

4 ダストキャッチャーと空冷用通風路を清掃します。

ダストキャッチャーと空冷用通風路のほこりを取り除いてください。

5 ダストキャッチャーを取り付けます。

ダストキャッチャーをツメのない側から差し込み、カチッと音がするまでしっかりはめこみます。

ダストキャッチャーを取り外したまま使用しないでください。

取り外したまま使用すると、故障の原因となることがあります。

定期的にメッセージが表示されるように設定することもできます

定期的なお手入れ時期のお知らせを有効／無効に変更したい場合は、（スタート）→「すべてのプログラム」→「お手入れナビ」→「お手入れナビの設定」の順にクリックします。

「お手入れナビの設定」ウインドウが表示されますので、ウィンドウの説明に従って操作してください。

第5章
仕様一覧

次の表は各機種ごとの特徴を示しています。詳しい仕様については、次ページからの仕様一覧をご覧ください。

製品名称（品名）	USB マウス	モデム	無線 LAN
NF40Y	○	×	○
NF40YN	△	×	△

○：添付または搭載、△：機能を選択した場合に添付または搭載、×：非添付または非搭載

パソコン本体の仕様

製品名称			FMV-BIBLO NF40Y
CPU 注1			インテル® Celeron® M プロセッサー 530
CPU 注1			1.73GHz
キャッシュメモリ			1 次：32KB 命令＋ 32KB データ、2 次：1MB（CPU 内蔵）
チップセット			モバイル インテル® 943GML Express チップセット
システム・バス			533MHz
メインメモリ			標準 1GB（512MB × 2） （PC2-4200 DDR2 SDRAM DIMM）ECC なし　最大 2GB 注2
メモリスロット			× 2（空きスロットなし）
表示機能	グラフィックアクセラレータ		チップセットに内蔵
表示機能	ビデオメモリ		最大 224MB（メインメモリと共用）注3
表示機能	液晶ディスプレイ注4		15.4 型ワイドカラー LCD 1280 × 800 ドット（スーパーファイン液晶）
表示機能	解像度／発色数注5		液晶ディスプレイ表示：1280 × 800 ドット／ 1677 万色 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1280 × 768 ドット／ 1677 万色
フロッピーディスクドライブ注6			FDD ユニット（USB）（別売）
ハードディスクドライブ注7			約 120GB（Serial ATA/150）注8
CD/DVD ドライブ注9			スーパーマルチドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ		チップセット内蔵＋ High Definition Audio コーデック
オーディオ機能	PCM 録音再生機能		サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）注10、 サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）注10、 同時録音再生機能
オーディオ機能	MIDI 再生機能		OS 標準機能にてサポート
オーディオ機能	スピーカー		ステレオスピーカー内蔵
キーボード			日本語キーボード （キーピッチ約 19mm、キーストローク約 3mm、87 キー、JIS 配列準拠）
ポインティングデバイス			フラットポイント、USB マウス添付
指紋センサー			－
ワンタッチボタン / DVD 操作ボタン等			Support ボタン搭載
通信機能	LAN		100BASE-TX / 10BASE-T 準拠
通信機能	無線 LAN 注11	規格	IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注12
通信機能	無線 LAN 注11	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.72）をご覧ください。

製品名称			FMV-BIBLO NF40Y
インターフェース	ExpressCard		× 1 スロット（ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）注13
	PC カード		−
	SD カード注14		× 1 スロット
	外部ディスプレイ		アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1
	USB 注15		USB2.0 準拠× 3（右側面× 2、背面× 1）
	IEEE1394（DV）		−
	LAN		RJ-45 × 1
	オーディオ		ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、 （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／ マイク：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）
	状態表示		LED
電源供給方式		AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）
		バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン　10.8V ／ 2000mAh
バッテリ稼働時間 (JEITA 測定法 1.0 注16)			約 1.0 時間
バッテリ充電時間注17			約 2.0 時間
消費電力注18			約 27W ／約 65W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率注19			I 区分 0.00078（AA）注20
外形寸法			W360.0 × D265.0 × H38.0 ～ 40.5 mm（突起部含まず）
質量			約 2.8kg
盗難防止用ロック取り付け穴			あり
温湿度条件			温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）
プレインストール OS			Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）
サポート OS 注21			Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（▶P.72）をご覧ください。

5

製品名称			FMV-BIBLO NF40YN
CPU 注1			インテル® Celeron® M プロセッサー 530
			1.73GHz
キャッシュメモリ			1次：32KB 命令＋32KB データ、2次：1MB（CPU 内蔵）
チップセット			モバイル インテル® 943GML Express チップセット
システム・バス			533MHz
メインメモリ★			標準 1GB（512MB × 2）／標準 2GB（1GB × 2） （PC2-4200 DDR2 SDRAM DIMM）ECC なし　最大 2GB 注2
メモリスロット			× 2（空きスロットなし）
表示機能	グラフィックアクセラレータ		チップセットに内蔵
	ビデオメモリ		最大 224MB（メインメモリと共用）注3
	液晶ディスプレイ注4		15.4 型ワイドカラー LCD 1280 × 800 ドット（スーパーファイン液晶）
	解像度／発色数注5		液晶ディスプレイ表示：1280 × 800 ドット／ 1677 万色 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示：1280 × 768 ドット／ 1677 万色
フロッピーディスクドライブ注6			FDD ユニット（USB）（別売）
ハードディスクドライブ注7★			約 80GB ／約 120GB（Serial ATA/150）注8
CD/DVD ドライブ注9			スーパーマルチドライブ
オーディオ機能	オーディオコントローラ		チップセット内蔵＋High Definition Audio コーデック
	PCM 録音再生機能		サンプリング周波数　最大 192kHz、24 ビット（再生時）注10、 サンプリング周波数　最大 48kHz、16 ビット（録音時）注10、 同時録音再生機能
	MIDI 再生機能		OS 標準機能にてサポート
	スピーカー		ステレオスピーカー内蔵
キーボード			日本語キーボード （キーピッチ約 19mm、キーストローク約 3mm、87 キー、JIS 配列準拠）
ポインティングデバイス			フラットポイント ご購入時の選択によっては、USB マウスが添付されます。
指紋センサー			－
ワンタッチボタン／ DVD 操作ボタン等			Support ボタン搭載
通信機能	LAN		100BASE-TX ／ 10BASE-T 準拠
	無線 LAN★ 注11	規格	なし／ IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠（Wi-Fi® 準拠）注12
		内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみ購入いただける製品の仕様です。
★　ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（▶P.72）をご覧ください。

製品名称		FMV-BIBLO NF40YN
インターフェース	ExpressCard	× 1 スロット（ExpressCard/34 モジュール、ExpressCard/54 モジュール対応）注13
	PC カード	－
	SD カード注14	× 1 スロット
	外部ディスプレイ	アナログ RGB ミニ D-SUB 15 ピン× 1
	USB 注15	USB2.0 準拠× 3（右側面× 2、背面× 1）
	IEEE1394（DV）	－
	LAN	RJ-45 × 1
	オーディオ	ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、 （出力：1mW 以上、負荷インピーダンス 32Ω）／ マイク：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック （入力：100mV 以下、入力インピーダンス（AC）1.5kΩ 以上 （DC）2kΩ 以上）
	状態表示	LED
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン 10.8V ／ 2000mAh
バッテリ稼働時間 （JEITA 測定法 1.0 注16）		約 1.0 時間
バッテリ充電時間注17		約 2.0 時間
消費電力注18		約 27W ／約 65W
省エネ法に基づく エネルギー消費効率注19		I 区分 0.00078（AA）注20
外形寸法		W360.0 × D265.0 × H38.0 ～ 40.5 mm（突起部含まず）
質量		約 2.8kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、 温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）
プレインストール OS		Windows Vista Home Premium 正規版（DirectX 10 対応）
サポート OS 注21		Windows Vista Ultimate 正規版、Windows Vista Home Premium 正規版

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみ購入いただける製品の仕様です。
★ ご購入時に選択したものをご覧ください。
パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」（••▶P.72）をご覧ください。

仕様一覧の注記について

注 1　ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。

注 2　・PC2-5300 DDR2 SDRAM も使用できますが、PC2-4200 DDR2 SDRAM として動作します。

・最大メモリ容量にするには、メモリスロットにあらかじめ搭載済のメモリを取り外して、別売の増設メモリを取り付ける必要があります。

・同一容量の推奨増設メモリを 2 枚搭載した場合にはデュアルチャネル対応になります。

注 3　Intel® Dynamic Video Memory Technology（DVMT）を使用しており、パソコンの動作状況によりメモリ容量が最大設定まで変化します。

注 4　・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

注 5　グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表示されます。また、外部ディスプレイに出力する場合は、お使いの外部ディスプレイがこの解像度をサポートしている必要があります。

注 6　フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD（1.44MB, 1.2MB）と 2DD（720KB）です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。

注 7　容量は、1MB=1000^2 byte、1GB=1000^3 byte 換算値です。

注 8　このパソコンは Windows RE 領域に約 1GB の領域が占有されています。そのため、「コンピュータ」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 1GB 少なく表示されます。
なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「トラブル解決ナビ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。

注 9　ドライブの主な仕様は次の通りです。
なお、各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。

スーパーマルチドライブ

CD/DVD	読出速度（最大）	書込書換速度（最大）
CD-ROM	24 倍速	−
CD-R	24 倍速	書込 24 倍速
CD-RW	24 倍速	書換 10 倍速
DVD-ROM	8 倍速	−
DVD-RAM	5 倍速（4.7/9.4GB）	書換 5 倍速（4.7/9.4GB）
DVD-R	8 倍速	書込 8 倍速
DVD-R DL	4 倍速（8.5GB）	書込 4 倍速（8.5GB）
DVD-RW	6 倍速	書換 6 倍速
DVD+R	8 倍速	書込 8 倍速
DVD+R DL	4 倍速（8.5GB）	書込 4 倍速（8.5GB）
DVD+RW	8 倍速	書換 8 倍速

注 10　使用できるサンプリングレートは、ソフトウェアによって異なります。

注 11　無線 LAN の仕様については、次のマニュアルをご覧ください。
『画面で見るマニュアル』»「002000」で検索
→「無線 LAN の仕様」

注 12　Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注 13　ExpressCard/34 モジュールと ExpressCard/54 モジュールは同時に使用できません。

注 14　・すべての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。

・マルチメディアカード（MMC）やセキュアマルチメディアカードには対応していません。

・SDIO カードには対応していません。

・miniSD カード、microSD カードをお使いの場合は、アダプタが必要になります。必ずアダプタにセットしてからお使いください。

・2GB を超える SD メモリーカードには対応していません。2GB を超える場合は、SDHC カードをお使いください。

・著作権保護機能（CPRM）には対応していません。

注 15　すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

注 16　社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver1.0）』（http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html）。
なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。

注 17　電源 OFF またはスリープ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。

注 18　・動作時の最小消費電力（Windows 起動直後の消費電力）/ 最大消費電力です。また、AC アダプタ運用時の消費電力です。

・電源 OFF 時の消費電力は、約 1.0W 以下です。なお、電源 OFF 時のエネルギー消費を回避するには、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。

注 19　エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

注 20　・2007 年度基準で表示しています。

・カッコ内の数値は省エネルギー基準達成率を示します。ただし、達成率が 100%を超えるものは、次のようにアルファベットで表記しています。
A：100%以上 200%未満、AA：200%以上 500%未満、AAA：500%以上

注 21　日本語 32 ビット版。

索　引

A

B

C

D

E

F

L

N

S

U

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

FMV-BIBLO NF40Y, NF40YN

FMV取扱ガイド

B5FJ-6131-01-00

発 行 日　2007 年 12 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

㋐ 0711-1

http://azby.fmworld.net/

FMVユーザーズクラブAzbyClub（登録・年会費無料）

FUJITSU

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準(2007年度版)を満たしています。
詳細は、Webサイト http://www.pc3r.jp をご覧ください。

大豆インキで印刷しています。

T4988618583237

このマニュアルは再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本されています。
不要になった際は、回収・リサイクルに出してください。